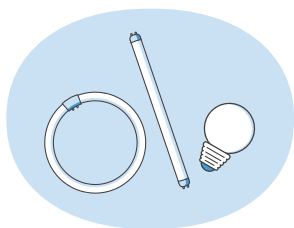


蛍光灯の2027年問題

早めにLED照明に切り替えを!

「水銀に関する水俣条約」において、蛍光灯の製造と輸出入が2027年末までに禁止となります。蛍光灯はさらなる値上げと品不足となり、さらに、他社のLED照明も樹脂・鋼材などの材料価格の高騰で値上げが予想されます。先送りにせず、早めにLED照明への切り替えを行いましょう!

LED照明に切り替えるべき理由



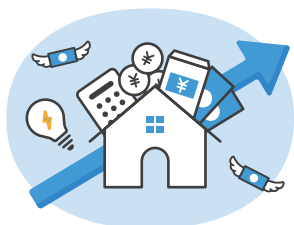
1. 蛍光灯の値上げと品不足

現在蛍光灯を製造している主要メーカーはパナソニック、東芝ライテック、ホタルクスの3社のみ。すべてのメーカーにおいて、原材料価格、物流コスト、海外での人件費高騰などを理由に生産終了や値上げが進んでいます。最大約80%~90%の値上がり!



2. 蛍光灯の生産終了で考えられる問題

- ・交換用ランプが手に入らない→入居者が買い替え困難となる
- ・需要が減り、供給が少なくなる→今後価格上昇の可能性はある
- ・故障時、代替品が手に入りにくい→修理困難又は修理期間が長期化する



3. LED照明の値上がり

LED照明は樹脂・鋼材などの材料価格の高騰により、2022年に引き続き多くのメーカーで値上げされました。今後も値上げの可能性が大きく、導入を先送りにすると高い買い物になってしまうリスクがあります。2023年4月から約15%、2回の値上がりを繰り返しています!

..... LED照明に変更した場合の変化と効果

項目	変化内容	効果	一般電球に比べると
電気消費量	○下がる	電気代削減	約85%省エネ
寿命	○長くなる	経済的・電球交換の手間が減る	約40倍の寿命
発熱量	○少なくなる	空調の効率化	発光面・側面ともに発熱量が減
耐衝撃性	○高くなる	地震等の落下時に割れにくい	-
購入コスト	△上がる	短期的な費用負担は増加	10倍以上高くなる



LEDへの切り替え、アイネットがお力になります!



お問合せは
アイネット管理課まで

092-737-7050
<https://www.inet-hre.co.jp/kanri/>

